

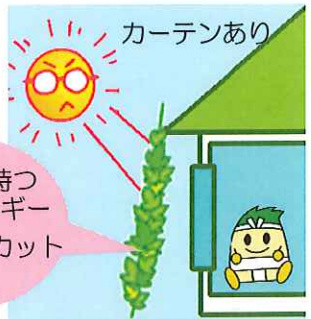
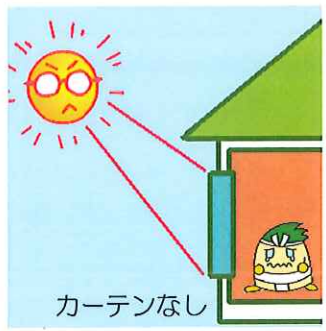


稲沢市
環境新聞
平成28年4月
発行

緑のカーテンとは？

「緑のカーテン」とは、アサガオ、ゴーヤ、ヘチマ、キュウリなどのつる性の植物を窓の外でネットにはわせて立てかけたり、外壁に直接はわせたりする自然のカーテンです。夏の強い日差しを和らげたり、葉の水分の蒸散作用（水分を水蒸気として排出すること）で周辺の温度を下げてりして、室温の上昇を抑える効果があります。また、植物の生体活動により、大気中の二酸化炭素の減少が期待できます。

稲沢市は、緑のカーテンの効果でエアコンの使用を控え、地球温暖化の防止に努めます。



日射が持つ熱エネルギー約80%カット



稲沢東小学校

平成27年度に設置した公共施設等	
・本庁、支所、市民センター等	41か所
・保育園、児童センター、児童クラブ	29か所
・小中学校	32か所
・合計	102か所

平成27年度は、公共施設102か所に緑のカーテンを設置しました。



牧川保育園

産業会館

大里オリーブ児童センター

稲沢市役所南側



老人福祉センター さくら館



大里西市民センター

さあ、緑のカーテンを始めましょう！


一、室温上昇を抑えられ、エアコンの使用を控えることにより、電気代の節約と地球温暖化防止につながります。

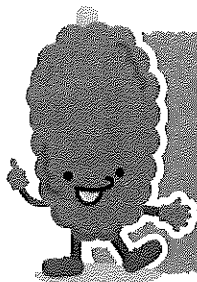
二、葉の蒸散作用で周りの熱を奪うため、涼しい風が流れ込みます。

三、植物を育てること、緑と環境を大切にすることが育ちます。また夏休みの自由研究にも最適です。

四、周囲に緑を増やすことができ、まちの環境美化と緑化が進みます。

住宅用地球温暖化対策設置費補助金

- ▽対象 自ら居住する市内の住宅にシステムを設置するかた
 - ▽補助金額 太陽光発電…1基につき2万円（上限8万円）
燃料電池…1基につき5万円
蓄電池…1基につき5万円
 - ▽申し込み 環境保全課（環境センター内）へ
電話 0587-36-3710
- ※必ず、設置する前に申請してください
- 



ゴーヤを育てて、 グリーンカーテンをつくらおう!



4月

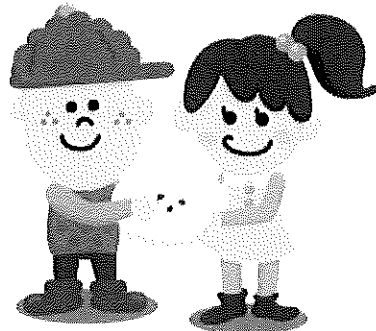
種をまく時期
土をつくる

1 園芸用の土を準備する。

30cmほどの深さがあるプランターに、底が隠れるくらいの石を敷き詰め、土をほぐしながら、ふんわりと入れる。

2 種の準備をする。

種の外皮は硬くて水が浸透しにくいので、2時間ほど水に浸す。ビニールポットに数粒ずつ、種をまいた上に約1cm厚さに土をかぶせて水をやる。



5月

育てる時期
元気な苗を

3 プランターに移す。

芽が出て本葉が2~3枚出てきたら、元気のないものは間引きする。ポットの底から根が出てきたら、根を傷つけないように20cm間隔で土ごとプランターに植え替える。

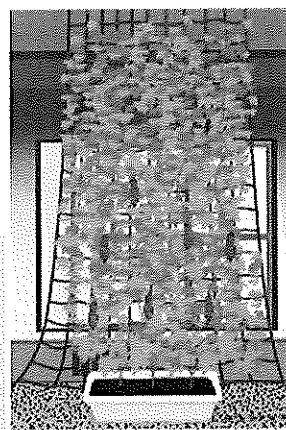


6月

成長する時期
とんとん

4 誘引する。

つるは柔らかいので、丁寧に広げるようにして、うまくネットにからめる。中心の一番太い茎がネットの上端まで達したら、その先を2~3cm切る(摘芯)ことで、つるが元気に成長する。



7月~

実がなる時期
実が咲いて

5 肥料をあたえる。

花が咲いて実がなる頃から1ヶ月に一度肥料(固形)をあたえるとよいでしょう。(参考:液体肥料は1週間に1回が目安です。)

● 水やりについて。

ゴーヤは根からたくさんの水分を吸い上げるので、晴れた日の朝か夕方には、1日に1回たっぷり水をあげましょう。

● ネットはつるが伸びる前に張る。

まっすぐにピンと張ることで、つるがからみやすくなります。園芸ネットは網目10cmのサイズが風も比較的通りやすく、手入れもしやすくおすすめです。

詳しくは [グリーンカーテンプロジェクト](#)

[検索](#)

